

P-7 住谷侑也・岩佐佳哉・熊原康博・後藤秀昭・竹内 峻・佐藤拓実・西口颯真

2016年熊本地震の地表地震断層に沿った本震後の変位の分布とその特徴

<選考理由>

布田川・日奈久断層帯の高野－白幡区間における緻密な測量に基づき、日奈久断層帯北端において観察された地物の顕著な変位が本震後の変位（余効すべり）に伴う可能性を示した。これまで見過ごされがちであった震源断層沿いの余効変動を捉えた重要なデータを獲得したこと、それらを SAR データと関連づけて検証するユニークな研究である点が高く評価された。